

中部運輸局海事振興部

令和5年1月18日 定例記者懇談会 発表



CtoSeaプロジェクト
海や船が「楽しく身近な存在」になるための取組み。
ポータルサイト「海ココ」→



連絡先

中部運輸局海事振興部 後藤、宮田

TEL : 052-952-8028

若年船員の確保対策について意見交換を行います**～ 「若年内航船員確保対策懇談会」を開催 ～**

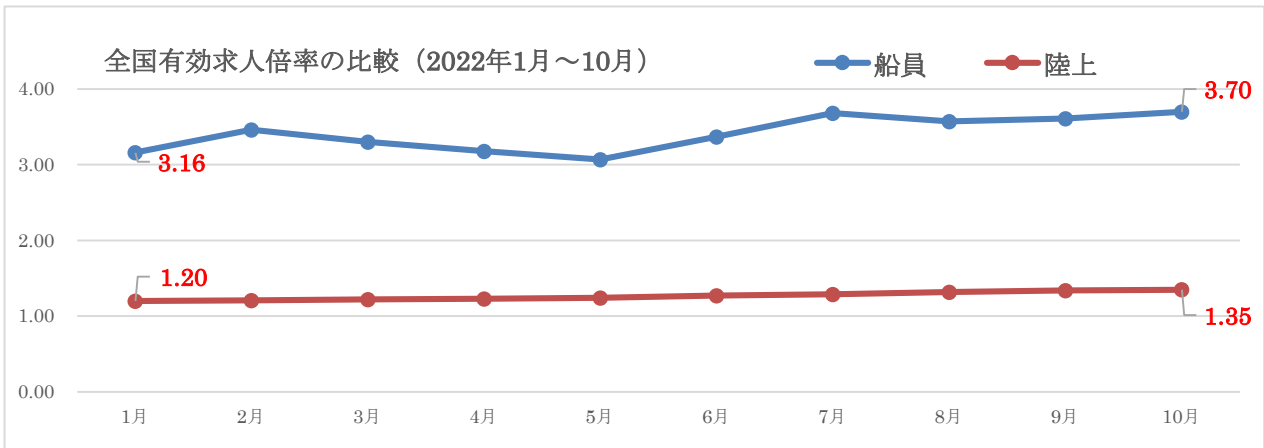
若年内航船員の確保・育成を図るため中部運輸局では、管内の船員養成学校及び海運関係者等が一堂に会して、雇用にかかる現状認識の共有や課題等について意見交換を行う「若年内航船員確保対策懇談会」を開催いたします。

記

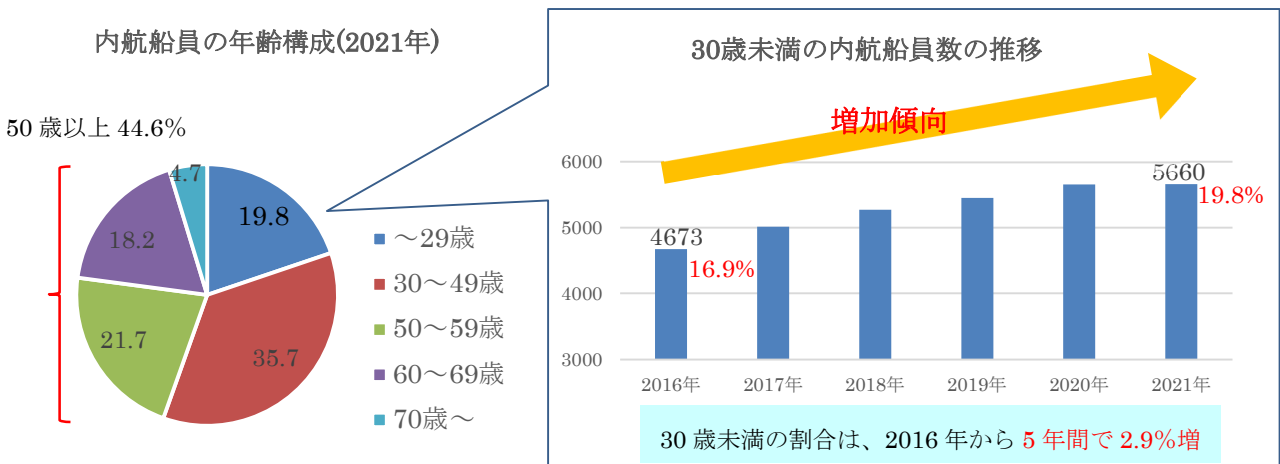
1. 開催日時 令和5年2月15日（水）14：00～16：00
2. 開催方法 Web会議システムによる開催
3. 構成者 管内の船員養成学校、内航海運事業者、内航海運関係団体及び中部運輸局（事務局）
4. 議題
 - ① 船員確保にかかる現状と運輸局の取組について
 - ② 各学校における最近の進路状況等について
 - ③ 海運事業者における船員の雇用状況・定着率等について
 - ④ 意見交換

※取材は冒頭の主催者挨拶までとさせていただきます。

船員の有効求人倍率は昨年1月以降3倍を超えて推移しており、全産業平均の1.35倍（2022年10月）に比べ非常に高い水準で、以前にも増して船員不足が深刻な状況にある。

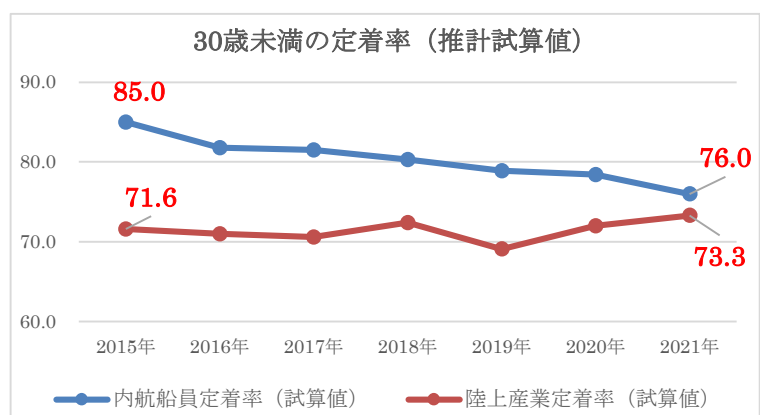


内航船員の年齢構成は、50歳以上の割合が44.6%と全体の約半数を占める状況にあるものの、若年船員確保のための取り組みが進められ、30歳未満の船員数が2016年に4,673人（全体の16.9%）であったものが、2021年には5,660人（全体の19.8%）となり、近年は若年層が徐々に増加している。



新卒船員の採用が進んだ結果、年齢構成は改善。

一方、若手船員の内航海運業界への定着率は減少。



せっかく教育した若手船員が、海を離れてしまうのは業界の損失